

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス たんぽぽ		
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日 ～ 令和7年2月14日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43名	(回答者数) 32名
○従業者評価実施期間	令和7年2月17日 ～ 令和7年2月21日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アットホームな雰囲気大切に、居心地が良く安心して きる環境を作り、お子さま一人ひとりのコミュニケー ションを大切に、様々な経験を積み重ねルール等社会 性を身につけることに重点をおいている。	職員との1対1の関わりから始め、お友だちに興味や関 心をもって相互な会話や遊びが出来るよう介入してい る。 失敗しても「大丈夫、次やり直してできる」等を伝え、モ チベーションを高めることで失敗や成功を繰り返しながら やり遂げる力や自身を育てていく。	一人ひとりの関わりを大切に、より興味を持てる主 体的活動となるようプログラムを精査していき、職員 間で共有していく。
2	清潔で心地よく過ごせる環境である。	毎日、おもちゃや人が触るもの等の消毒を行う。 室内換気をこまめに入れ替え、換気することで、最小限 の抑えられ、感染症にかからない様十分気をつける。人 が触れるものには、消毒は細かく気配りをしている。	定期的に清掃用具の交換、見直しを行う。 換気等は引き続き継続し感染予防にも気を付けてい く。
3	保護者様との良好な関係構築に力を入れる。	なるべく保護者様と対面し、日中支援の養育の様子に ついてお話させていただく中で、顔の見える関係性と信 頼関係を大切にしている。	保護者様が安心していただける様、直接お話しすること が難しい場合、電話での連絡手段等や連絡帳を活用し より丁寧に分かりやすくお伝えし、深めていきたいと 思います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所での非常災害が発生した場合。	保護者様むけに情報発信を行っていますが、お子さま の来所日が違うため、日々の活動がよりわかりやすくて きるよう周知していく。	インスタグラム、ライン等を活用し、保護者様への情 報提供を行っていく。
2	保護者様同士のつながりが不十分である。	イベント等や研修会は行っているが、土日祝日等はご家 庭で過ごされることが多く、中々集まっていたきにく い。	余裕をもって周知や説明を行い、保護者様の理解を深 め参加を促すよう働きかけたい。
3	情報発信について、事業所での取り組みや活動内容、避 難訓練の有無等の情報が保護者様に伝わっていない。	保護者様むけに情報発信を行っていますが、お子さま の来所日が違うため、全員が避難訓練を経験できていな い。	インスタグラム、ライン等を活用し、保護者様への情 報提供を行い、来所人数が多い日にちを確認、複数回 避難訓練を計画していく。 避難訓練を実施した時に保護者様に内容等を丁寧に伝 えていく。